

普及センターNews No.201

愛知県海部農林水産事務所農業改良普及課

住所 〒496-8532 津島市西柳原町1-14 (海部総合庁舎内)

電話 0567-55-7611(ダイヤルイン) FAX 0567-25-8943

E-mail ama-fukyu@pref.aichi.lg.jp



「豊かで魅力溢れ、輝く海部の農業を目指して」
 新年あけましておめでとうございます。旧年中は、農業者や関係機関・団体の皆様には農業改良普及課の業務に対して、御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年3月には「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、食料の安定供給の確保や農業の持続的な発展、農村の振興などの施策を講ずることとなりました。

しかしながら、異常気象による生産減少、鳥インフルエンザの拡大、さらには新型コロナウイルスの影響による行事の変更や消費の低迷、支援体制の不備など、農業経営には苦しい状況がありました。

一方で、新しい生活様式の中で課題解決への工夫や創造も見られ、可能性も示されました。今こそ、生産から販売までの関係者の心をつなげて「禍を転じて福となす」、着実な歩みが重要です。

今後も、農業改良普及課は農業者や関係機関・団体の皆様方と連携して、海部地域農業が一層発展するよう普及指導活動を実施する所存でございます。

本年もさらなるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

海部農林水産事務所農業改良普及課 課長 坂下 健

渡邊みさ子氏（愛西市）が「愛知農業賞」を受賞

愛西市の(有)はす工房代表の渡邊みさ子氏が、令和2年度愛知農業賞（あいちアグリアワード）の農業・農村振興部門で受賞され、12月25日（金）JAあいちビル（名古屋市）において表彰式が開催されました。

渡邊氏は、昭和50年に旧立田村のレンコン農家に嫁ぎ、農業経営の傍ら、レンコン料理を考案する生活改善実行グループの活動に加わり、平成8年度には「愛知県農村生活アドバイザー」の第2期生に認定されました。平成16年には道の駅「立田ふれあいの里」内に「はす工房」を開店し、レンコンや地元農産物を利用した惣菜等の販売を通じて、愛西市の農業・農村の振興、女性の雇用創出、食育の推進等に大きく貢献されたことが評価され、受賞となりました。



表彰式後の記念撮影（渡邊氏：前列中央）

農業経営士、農村生活アドバイザー、青年農業士新規認定者の紹介

令和2年11月20日（金）の認定式において、新たに6名の方が愛知県知事から認定されました（敬称略）。

● 農業経営士



成田 照幸
大治町
露地野菜

地域農業の発展と信頼ある農産物の生産を目指し精進します。



伊藤 康宏
大治町
露地野菜

地域の農業を盛り上げ、高品質な生産の実現に向け精進します。

● 青年農業士



加藤 悠太
愛西市
酪農

次世代の農業を担っていく一員として日々精進していきます。

● 農村生活アドバイザー



安田 典子
愛西市
露地野菜

交流を通し、地域に貢献できるよう頑張ります。



渡邊 栄子
弥富市
施設野菜

交流を生かして農業の大切さを学び、頑張ります。



伊藤 清貴
愛西市
露地野菜

地域農業を盛り上げ、多面的機能のある土地を守り、社会に貢献します。

皆様方の今後の活躍を御期待申し上げます。

トマト・ミニトマトICT研究会開催

令和2年10月30日、JAあいち海部本店会議室において、ICT研究会が開催されました。今回は研究会員以外の生産者にも呼びかけ、参加人数は25名となりました。

愛知県農業総合試験場広域指導室の田中主任専門員から、温度や炭酸ガス濃度など環境制御の基礎や、先進地の取組について、出席者と意見交換しながら講義が進められました。農業改良普及課からは、施設内の温度ムラ調査の結果や病害虫対策の情報提供を行いました。

講義後は、参加者から「クイックドロップ（日没後、急激に室温を下げる）は効果があるか？」、「環境制御に関するお薦めの本を教えてほしい」など多くの質問があり、施設内の環境改善に向けて有意義な研修会となりました。



講師の話を熱心に聞く参加者